

平野 広行 議員 清流クラブ

弥富市制10周年 記念事業の構想は

問

(1) 18年4月1日に弥富町と十四山村が合併し、弥富市が発足してから来年4月には10周年を迎える。

市制10周年記念事業（以下、記念事業）に対する市長の思い、考えを尋ねる。
(2) この記念事業の全体像としては、まず1つ目が記念式典、2つ目に市民参加事業、3つ目に本市のPR事業、以上の3つを柱として考えていくべきだと思いが、市の見解を求める。

市民参加型のイベント、
記念事業にしていきたい

答 市長

(1) 記念事業は、28年度事業でやっていくが、これから先の10年、しっかりとしまちづくりを市民と協働

の精神でしていくということに尽きる。

その中で、市民参加型のイベントや記念事業を実施し、お祝いしたい。財政的な措置をしないと、実施できないので、「弥富市制10周年記念事業庁内連絡会議」を庁内に設置し、副市長を委員長として、さまざまな事業を考えていきたい。

構想としては、記念講演会、スポーツ、文化、芸能のイベントの開催やNHKとのタイアップで番組を構成していきたい。

地場産業の金魚において、奈良県郡山市、熊本県長洲町など日本の生産地の皆様にも声をかけ、金魚サミットの開催を考えている。また、防災・減災を考えていかななくてはならない時

期であるので、国土交通省、愛知県、官庁などとの連携の中で、本市独自の防災訓練を開催したい。

各種団体からもアイデアをいただきながら、市民参加型のイベント、記念事業にしていきたい。

答 総務部長

(2) 全体像としては、記念式典、市民参加事業、PR事業を考えている。

記念式典は、10月の健康フェスタ、11月の市定例表彰に合わせたの開催を考えており、市民参加事業などについては、キャッチフレーズやロゴマークの募集、図画、作文による未来の弥富などが考えられるが、現在検討中である。
市制10周年PRについては、ホームページで特設サイトを設けるなど、今後検討していきたい。

新庁舎建設に向けて
現庁舎の安全確保を

問

(1) 想定される南海トラフ

巨大地震が発生しても市役所の業務が安全に遂行されるためには、現庁舎からの移転が必要である。現在の庁舎が耐震性に乏しく危険であることは、市、そして議会も十分承知しているわけで、その安全対策をいつまでも請じないのはいかなものか。

6月議会に仮庁舎改築準備に向けての補正予算を計上されたが、その理由は。

(2) 移転後の現庁舎の処置について、解体後、更地にし、海南病院の駐車場の補填としてはどうか。

(3) 仮庁舎の各課の配置は。

来年5月の連休後に仮庁舎を
十四山支所と図書館棟に
移していきたい

答 市長

(1) 市民の安心・安全、そして職員の安全に対してもしっかりと担保していかなくてはならない。

本来ならば新庁舎の工事発注のスケジュールを考慮

して仮移転を考えるとところだが、この6月議会で設計委託料の補正予算をお願いした。これは、十四山支所と図書館棟を仮庁舎とするためのものである。

そして、9月の定例議会では、工事費の補正予算を計上する予定である。

具体的な工事を進めていきながら、来年5月のゴールデンウィーク後に仮庁舎を十四山支所と図書館棟に移していきたい。

答 総務部長

(2) 仮移転後の現庁舎の処分は、現状のままとして、新庁舎建設工事において解体する考えである。

(3) 課の配置について、現在の計画は、図書館棟へは市民の利用度が高い民生部（環境課を除く）、税務課、収納課、会計課を配置し、十四山支所へは、開発部、環境課、学校教育課、秘書企画課、総務課、危機管理課、財政課、議会事務局、監査委員事務局を配置する予定である。